

平成 26 年度研究プロジェクト研究活動報告

研究種別	■共同研究 1
主査名	西田 泰・公益財団法人交通事故総合分析センター 特別研究員兼研究第一課長
研究テーマ	職業運転者の交通事故対策のあり方
研究の目的: <p>職業運転者の高齢化に伴う問題の一つである交通事故の防止には、職業運転者による交通事故の把握だけでなく、対象となる職業運転者集団(トラック、タクシー等の業種別)の属性把握も必要である。</p> <p>本研究では、昨年度構築した統合データベースを活用した職業運転者の属性変化や運転環境の変化についての分析、及び長期間無事故・無違反である職業運転者に対するアンケート調査や面接調査を実施することで、職業運転者の交通事故対策のあり方について検討する。</p>	
研究の経過(4月～9月): <p>10月月末までの2回の委員会で研究計画及びアンケート調査・面接調査の方法について検討し、アンケート調査及び面接調査を開始した。調査対象は、トラック運転者(一般及び宅配)とタクシー運転者とし、アンケート調査は比較対照群を含めて350名、面接調査は10名とした。</p> <p>10月月末までに実施した長期間無事故・無違反であるトラック運転者に対する面接調査からは、多種多様な運転者像が得られた(車好き/車は好きでない、家族との出がけに挨拶する/しない、模範運転者然とした外見/そうでない外見、安全運転のために心掛けていることの優先事項等)。</p>	
下期へ向けて(課題等): <p>今後、タクシー運転者に対するアンケート調査や面接調査を実施し、トラック運転者に対する調査結果と合わせて分析するとともに、統合データベースを活用した運転者属性の変化等に関する分析を行い、運転者属性に着目した職業運転者の交通事故対策について検討する。</p> <p>現在までの面接調査によると、無事故・無違反運転者の考え方、意見には、一見すると相反するようなものもあり、そのままでは一般運転者への教育資料として展開することは難しく、今後、無事故・無違反運転者の本質が何であるかについて十分に検討することが必要と考えられる。</p>	
研究メンバー(敬称略): <p>会員 - 景山 久(交通評論家)、鹿島 茂(中央大学教授)、西田 泰(交通事故総合分析センター) 樋口 忠夫(日本交通科学学会理事)、村田 隆裕(交通評論家)</p> <p>共同研究者 - 伊澤 昭一(交通評論家)、小菅 孝嗣(全国ハイヤー・タクシー連合会常務理事) 永嶋 功(全日本トラック協会審議役)、嶋本 宏征(前:運輸政策研究所、現:株)建設技研)</p>	